

ダウンロードしたPDFファイルをプリンターで印刷します。

用紙は厚さ0.125mmのマット紙(表面つや消しの紙)が適しています。

Adobe Readerで印刷する際「ページ処理」欄の「ページの拡大/縮小」は「なし」を選択してください。

※作業時間の目安 5分間



裏面に鉛筆で接続番号を記入します。また、「最後に閉じる面」の裏側に両面テープを貼り付けます。

写真のように用紙をセロファンテープできれいな窓ガラスに貼り付け、透かして見ながら裏面に鉛筆で接続番号を記入します。総て記入する必要はありませんが、各部品4～8箇所程度はお願いします。なお、のりしろとその接続先の両方に書き込んでください。

「最後に閉じる面」(緑色の文字で指定してあります。)の裏側に両面テープを貼り付けます。(全部で7箇所)

※作業時間の目安 20分間

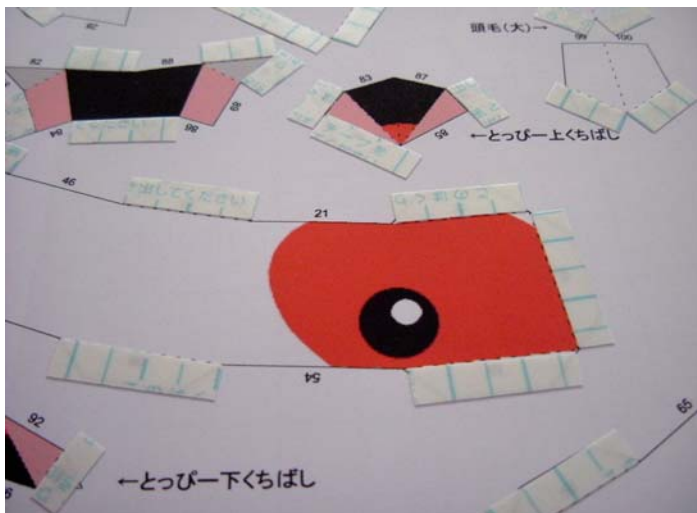


裏面に接続番号を記入し、「最後に閉じる面」の裏に両面テープを貼り付けた状態です。

展開図を見て前後が分かる部品については矢印を書き込み、どちらが前なのかを示してあります。

初めて作る方で前後が分からない方は、矢印は記入しなくてもかまいません。接続番号だけで作製可能です。

(何回か作製すると慣れて接続番号がなくても矢印だけで組み立てできるようになります。)



用紙の表面ののりしろに両面テープを貼り付けます。面倒ではありますが、この作業を行うことで、接着剤が固まる時間を待たずに作品を仕上げることができますので、最終的にはより短時間で完成させることができます。

のりしろの幅は5mmなので、幅1cmの両面テープを半分にカットするとちょうど良い大きさになります。

両面テープが少々のにりしろの無い部分にはみだしてもかまいません。(部品をカットする際にはみだした部分は切り落とされるため)

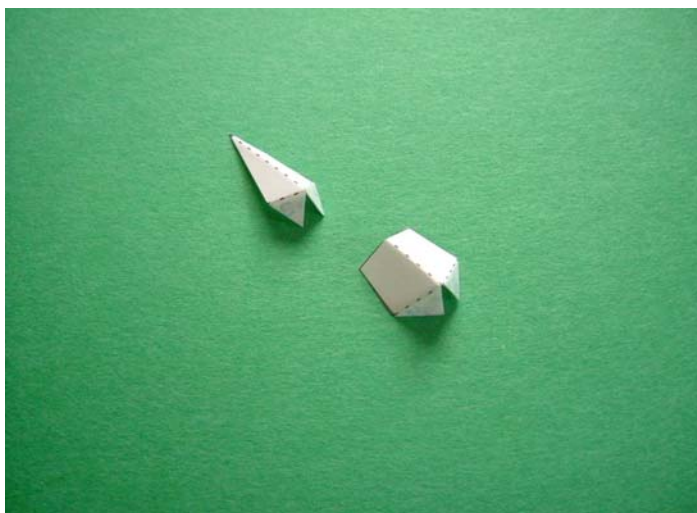
※作業時間の目安 1時間



頭部にとりつける部品の作製に入ります。まず、「頭毛(小)」を切り出します。

のりしろに貼り付けた両面テープの剥離紙が剥がれないように注意しながら、はさみで切り出します。

はさみの付根ではなく、先端付近を使用して作業すると剥離紙を剥がさずに切断できます



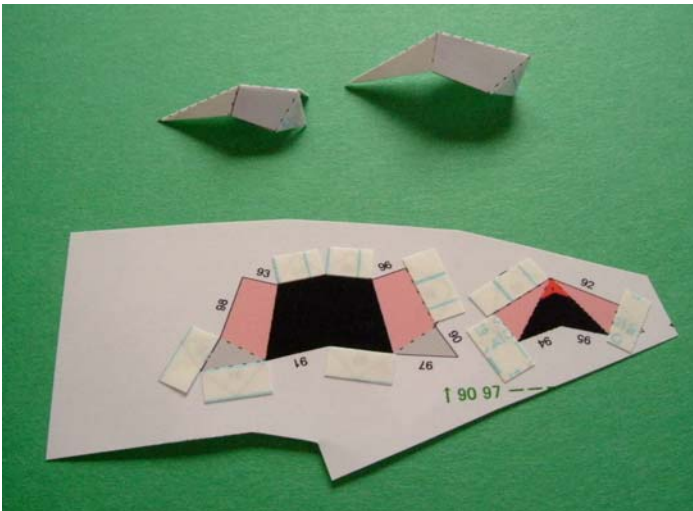
折れ線に沿って折り曲げます。まだ剥離紙は剥がしません。



先端部部品の下端のりしろの剥離紙を剥がし、下部部品の上端に貼り付けます。

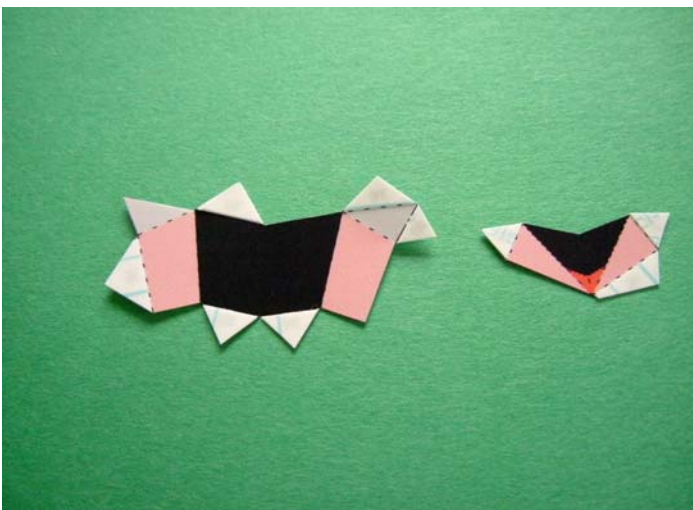
下部部品下端のりしろの剥離紙は剥がしません。(頭部に取り付ける際に剥がします。)

この後、同様の方法で「頭毛(大)」を作製します。



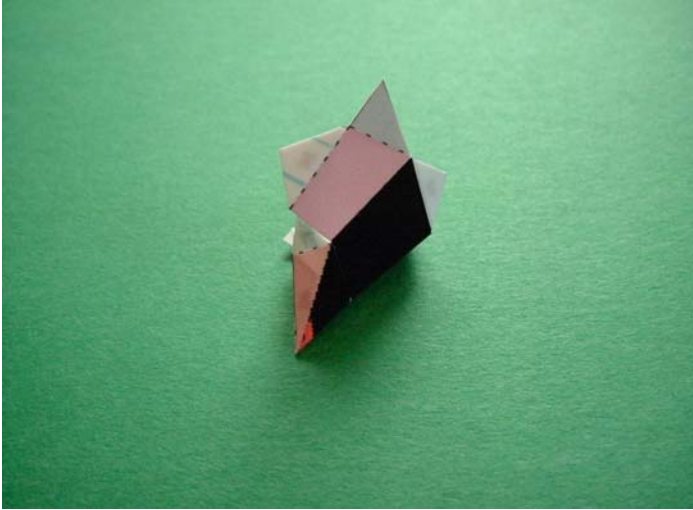
下くちばしの作製に入ります。まず、周りをお雑把に切り抜きます。

(上に作製済みの頭毛(大)及び(小)が見えます。)



はさみを使ってきれいに切り抜きます。裏面にも両面テープがついています。剥離紙が剥がれないように注意してください。

のりしろが貼り合わせる相手の面より大きい場合は切断線よりも小さくカットします。



くちばしの先端から作業を進めます。

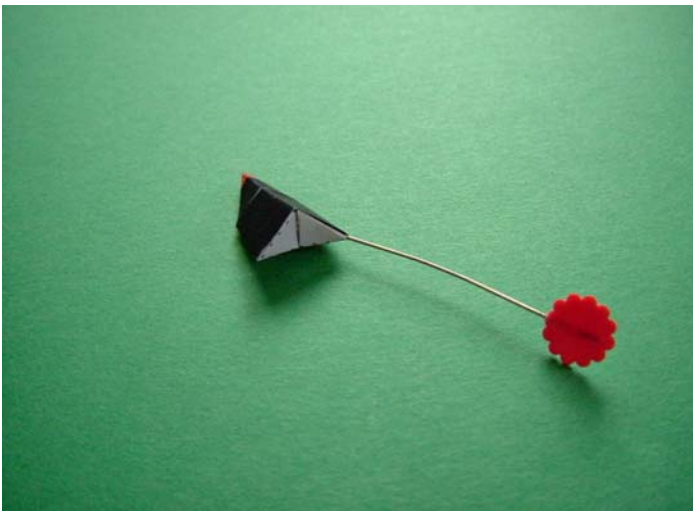
折線に沿って折り曲げ、のりしろの剥離紙を剥がし、貼り付けながら組み立てていきます。

細かい部分はピンセットを使用します。



「最後に閉じる面」を閉じていきます。まずのりしろ側の「剥離紙」を剥がします。(写真の状態)

その後、「最後に閉じる面」の裏面の剥離紙を剥がします。すると両方が粘着面となりますので、指で軽く押さえるだけで接着することができます。

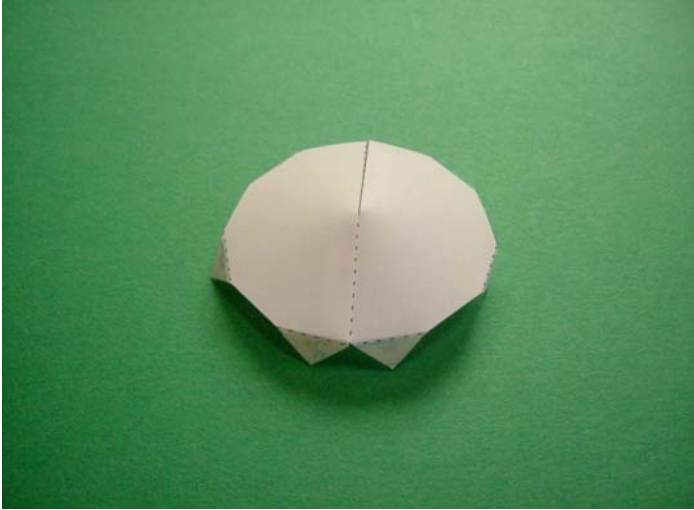


「最後に閉じる面」を貼り合せた後で、念のため、まち針をのりしろの端から差込み、裏側から外へ押し付け完全に密着させます。

使用后、まち針を紛失しないように注意してください。怪我の原因となります。

その後、同様の方法で「上くちばし」を作製します。

※作業時間の目安
頭毛(小)作製からここまで30分



頭部の作製を開始します。まず頭頂部を切り出し、貼り合せます。

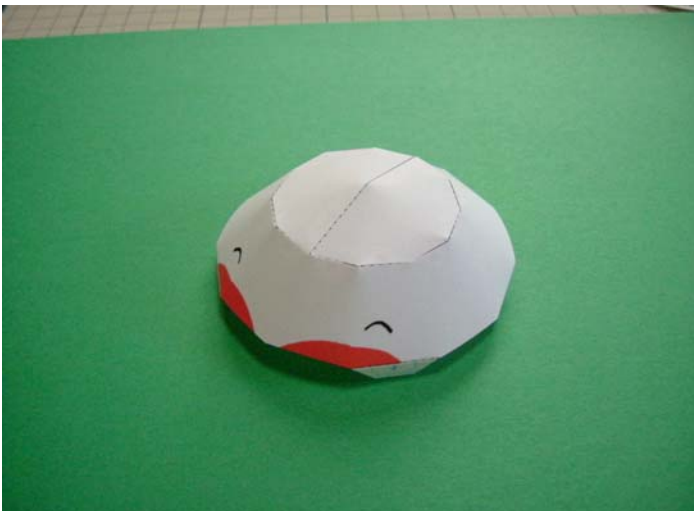
のりしろの端の45度の切断線は用紙と両面テープの両方を切断することになります。その際、両面テープの剥離紙が剥がれないように注意して作業してください。

はさみのなるべく先端部分を使用し、慎重に切り離します。



引き続き、その下の「おでこ」部分を同様に作製します。

剥離紙を剥がしたのりしろ部分の接続番号がみえています。これから貼り合せを行う状態です。



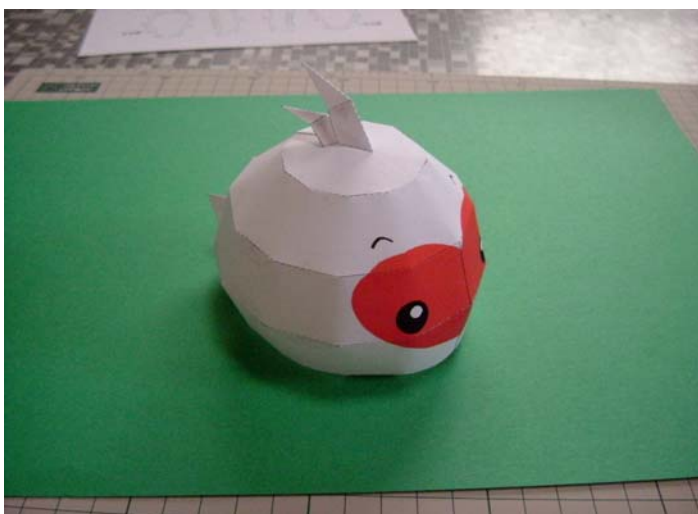
貼り合わせ完了です。

これから作製済の頭毛を貼り付けます。



頭毛の下端ののりしろについている両面テープの剥離紙を剥がして頭部に貼り付けます。2枚ののりしろの角度を変化させることで頭毛の立ち具合を調整できます。

前方に貼り付ける頭毛(大)の下端のりしろは完全に重なった状態がちょうど良いと思われます。



引き続き部品を下へと組み立てていきます。この段階でくちばしを取り付けます。



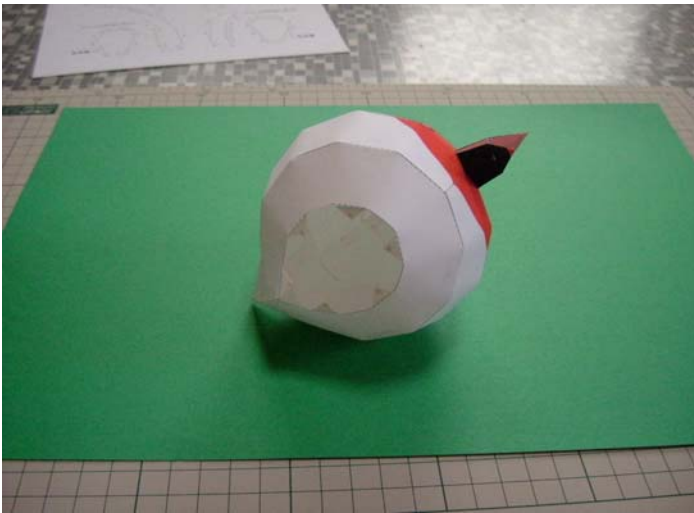
上くちばし付根の灰色の部分に両面テープを貼り付けた状態です。これから、はみ出した部分をはさみでカットします。

残った両面テープの剥離紙を剥がすと粘着面が現れますので、そこを頭部に接着します。



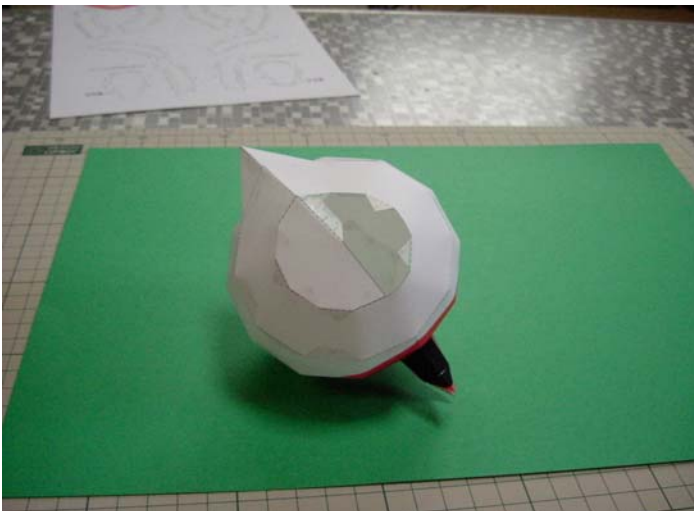
同様の方法で下くちばしも取り付けます。

貼り付ける位置を上下に変えることで、くちばしを開いたり閉じたりさせ表情をつけることができます。

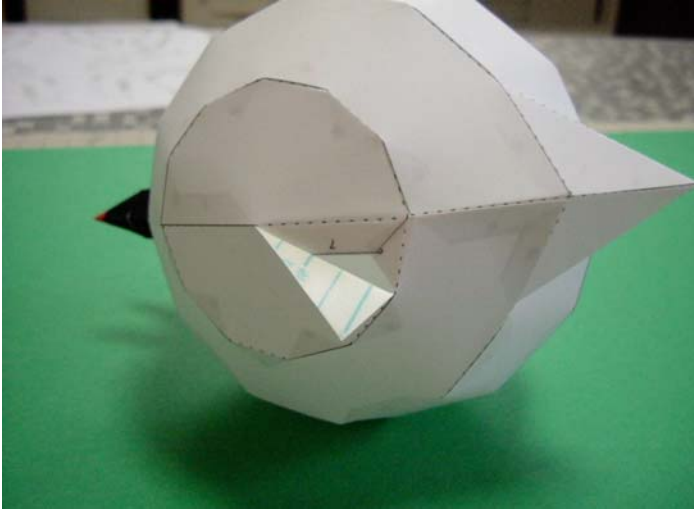


さらに下部へと組み立てを進めていきます。これから一番下の部分を貼り付けます。

多少形がゆがんでいますが、全部の部品を取り付けるときれいな球形となりますので、心配いりません。

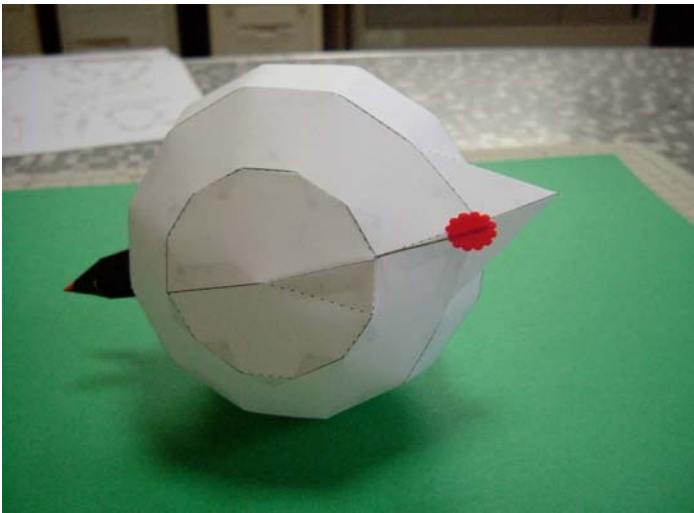


「最後に閉じる面」を含まない側の部品を貼り付けます。反対側が開いているのでここからピンセット等を入れ、作業を進めることができます。

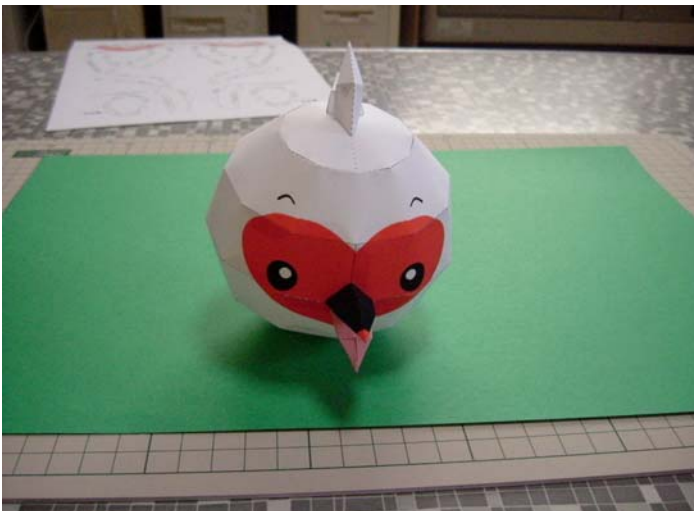


「最後に閉じる面」を含む部品を取り付けます。この写真は「最後に閉じる面」と貼り付くのりしろ部分の剥離紙を剥がした状態です。

これから、「最後に閉じる面」の裏面の剥離紙を剥がし、接着を行います。

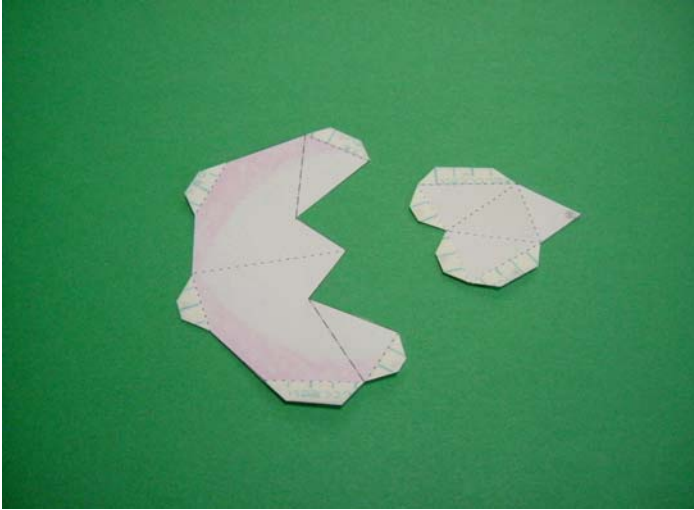


まち針をのりしろの端から差込み、のりしろの裏側から外に押し付け、完全に密着させます。

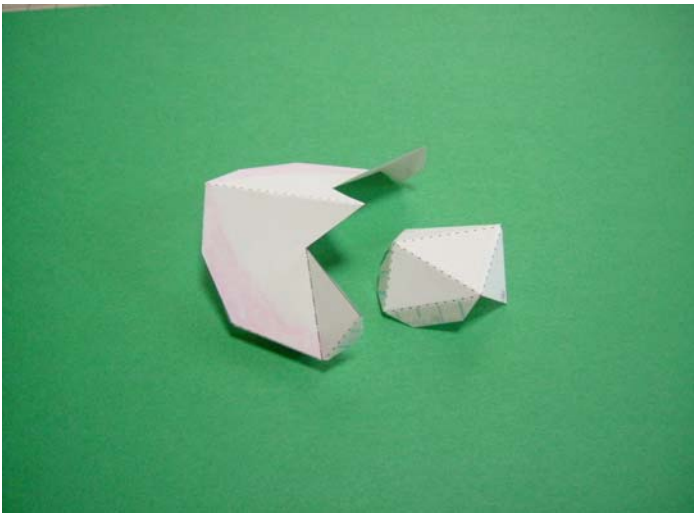


頭部完成です。

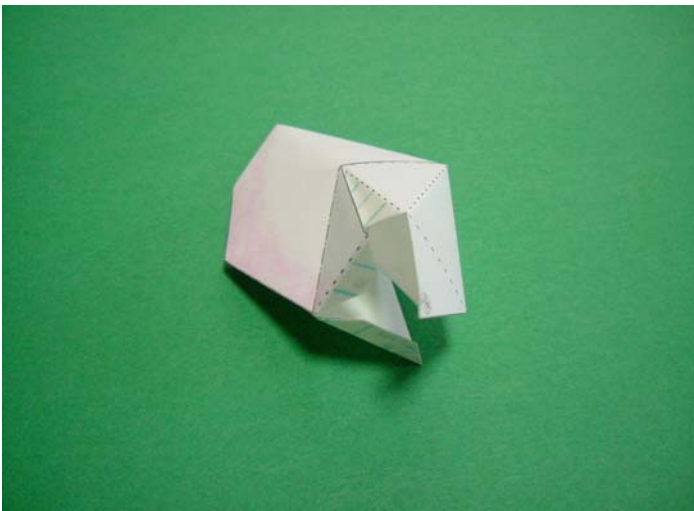
※作業時間の目安
頭頂部切り出しからここまで50分



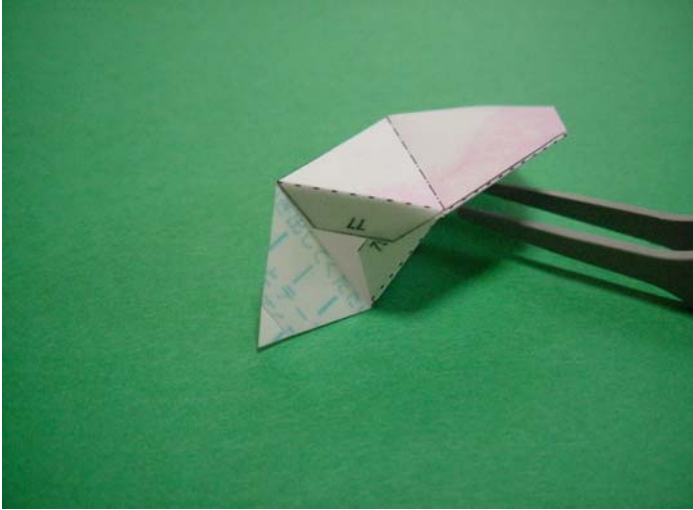
翼の作製に入ります。まず、左翼の部品2つを切り抜きます。



折線に沿って折り曲げます。

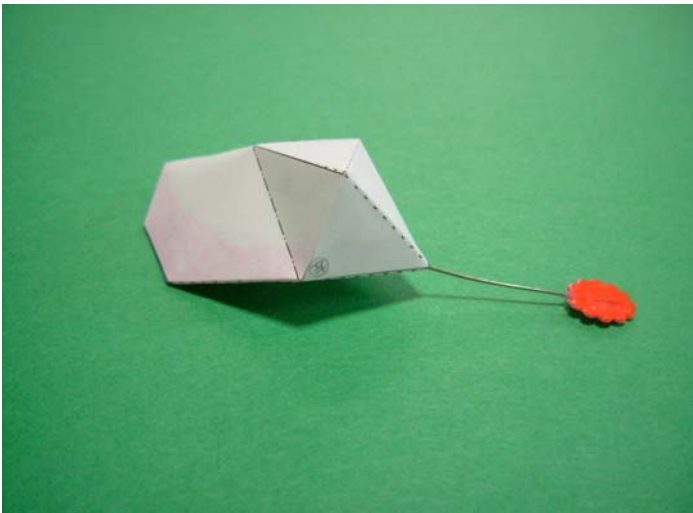


翼の先端から組み立てていきます。



「最後に閉じる面」を貼り付けます。この写真は相手ののりしろの剥離紙を取った状態です。

これから、「最後に閉じる面」の裏面の剥離紙を取り去り、貼り付けを行います。



まち針をのりしろの端から差込み、のりしろの裏側から外に押し付け、完全に密着させます。

この後、同様に右翼も組み立てます。

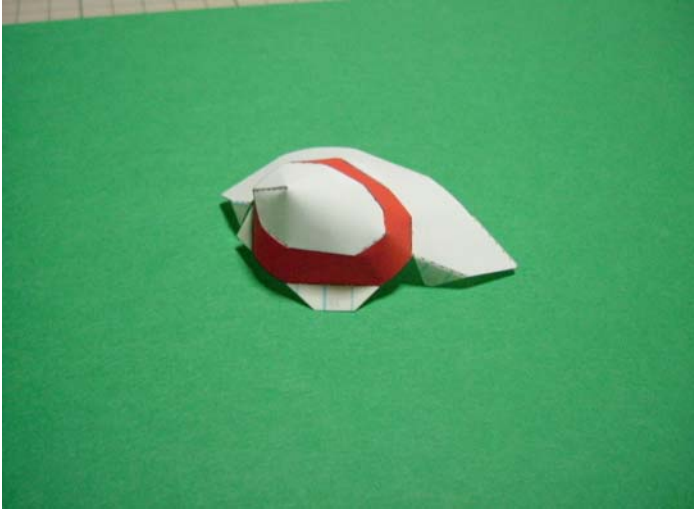
※作業時間の目安

左翼部品切抜きからここまで20分



左足を作製します。まず、一番上の部品を切り出し、折線に沿って折り曲げます。

上端後部のりしろの両面テープの剥離紙を剥がし、ここを貼り合せます。



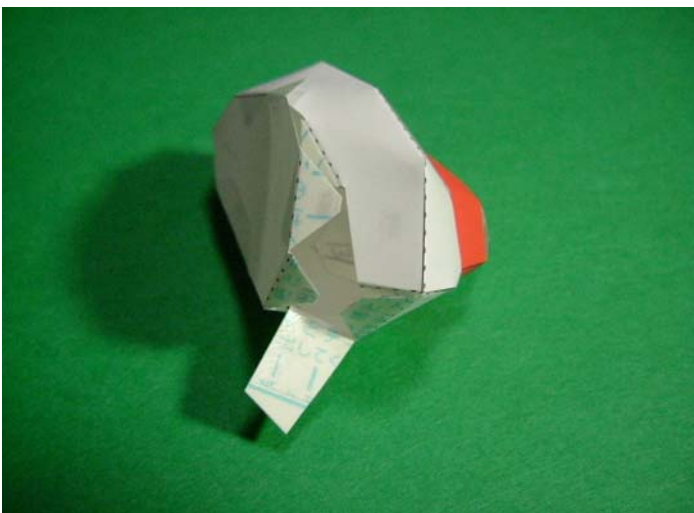
赤い足首部分を組み立て、さらにその下の部品を追加していきます。

用紙から部品を切り出し、その部品を折り曲げ、必要なのりしろの剥離紙を剥がして貼り付けるという作業を繰り返していきます。

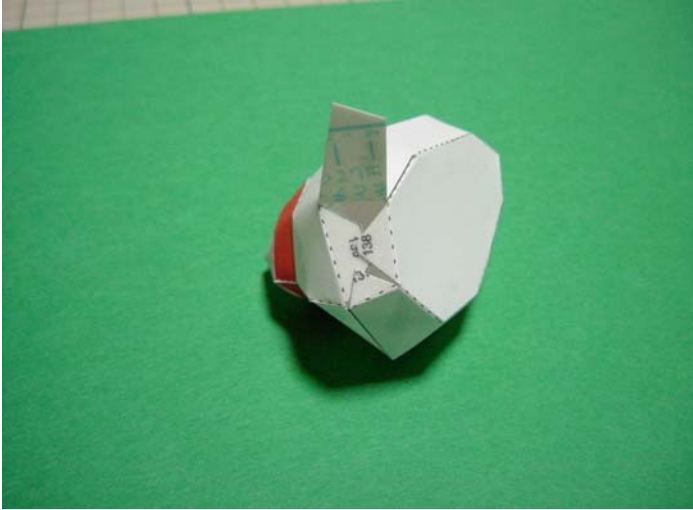
次の作業で接合する部品のみを切り出し、その部品を接着した後で次の部品を切り出した方が良いでしょう。一度に複数の部品を切り出すと、部品同士の位置関係が不明になり作業が混乱します。



これから「左足裏」を貼り付けます。かかと部分になる「最後に閉じる面」はまだ開けておきます。

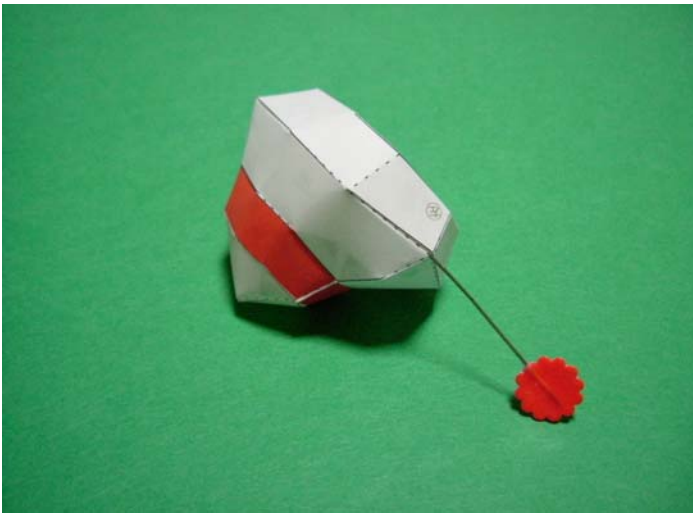


足裏をつま先部分から順番に貼っていきます。ピンセット等を利用すると楽に作業を進めることができます。



「最後に閉じる面」を貼り付けます。これは相手ののりしろの剥離紙を取った状態です。

これから、「最後に閉じる面」の裏面の剥離紙を取り去り、貼り付けを行います。



まち針をのりしろの端から差込み、のりしろの裏側から外に押し付け、完全に密着させます。

この後、同様に右足も組み立てます。

※作業時間の目安
左足作製開始からここまで1時間



頭部、翼、足が完成しました。自由に貼り付けて好みのポーズを作ってください。

きっぴーの場合はリボンをつくり、頭毛(大)に貼り付ける必要があります。

このモデルは「自立」しませんので、別添の「展示台」に接着する必要があります。

※作業時間の目安
作業開始からここまで
合計4時間5分